

平成31年度「児童青少年部の方針」

■保育所・学童クラブの待機児対策の更なる推進

▽平成31年（2019年）10月及び平成32年（2020年）3月に新たに認可保育所を2か所整備するとともに、子ども・子育て支援に関するニーズ調査等の結果を踏まえて、こまえ子育て応援プラン（粕江市子ども・子育て支援事業計画）の子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の方策（平成32年度（2020年度）～平成36年度（2024年度））を策定し、待機児対策を推進します。

▽学童クラブの待機児対策として、平成30年度に策定した待機児対策検討報告書～学童クラブ編～に基づき、平成32年度（2020年度）に3か所（粕江第三小学校舎内・駄倉地区センター内への新設及び粕江第五小学校放課後クラブの拡充）で110人の定員増を図るための準備を進めます。

▽平成30年度に策定された粕江市立保育園の民営化に関する検証報告書を踏まえ、今後の市立保育園のあり方や粕江市内の私立認可保育所との統一的な保育指針の検討等を、平成31年度に策定するこまえ子育て応援プラン等へ反映させ、保育環境の充実を図ります。

■幼児教育・保育の無償化への適切な対応

▽10月から始まる幼児教育・保育の無償化に向けて、国・東京都の動向を踏まえ、例規整備、システム改修、予算確保等の事務手続きを適切に行います。また、関係教育・保育施設等と連携して、保護者等への周知を文書やホームページだけでなく、子育てサイト、ツイッター、フェイスブックを活用して保護者等への周知を図るとともに、実施に向けて部内での情報共有、適切な役割分担と進捗管理等連携・協力して準備を進めます。

■新たな時代に向けた「こまえ子育て応援プラン」の策定

▽ニーズ調査、ひとり親家庭等実態調査、子どもの生活実態調査及び若者生活実態調査等の結果を踏まえるとともに、ワークショップを開催して、子育て世帯の生の声を聴くことで、新たな子ども・子育ての総合的な支援策を構築します。

■子育て親子が交流する「子ども家庭支援センター」の整備

▽平成32年（2020年）4月の子ども家庭支援センターの移転・開設に向けて、児童発達支援センター、教育支援センター等の関係機関と連携を図りながら、子育て中の保護者の交流拠点、児童虐待対応の拠点としてその機能を十分に発揮できるよう、事業者の選定とともに必要な環境整備に向けた準備を進めます。

■信頼される組織の構築

▽新たに配置するひとり親家庭等専門相談員の機能や役割が十分に活用されるよう、事業内容の周知及びひとり親家庭等に対する相談・支援制度の充実を図るとともに、幼児教育・保育の無償化、児童手当、医療費助成及び幼稚園等の補助・給付事務等、各制度への理解を深め、正確で間違いのない情報提供・窓口事務を行うことで、市民から信頼される窓口業務を実現します。

▽相手の気持ちに立った対応を心掛け、市民が何を望んでいるのか、欲しい情報は何かを気付き、受動的な接客ではなく能動的な接客で市民に信頼されるよう、サービスの向上を図ります。